



「日本社会に貢献していく」と意気込みを語った川村さん

司法試験・国家公務員採用総合職試験・公認会計士試験

2020年度 2021年度 合格者を祝福

2021年度の司法試験、国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験の合格祝賀式が12月6日、神田キャンパスで開催された。コロナ禍で2年ぶりの開催となり、20年度の合格者も出席。感染症対策のため規模を縮小し、参加者も限定していたが、難関試験を突破した合格者は祝福に涙とした表情で応えていた。

卒業生・修了生を含めた今年度の合格者は、司法試験10人、国家公務員採用総合職試験6人、公認会計士試験15人(1月12日現在)。公認会計士試験の在学生の合格は、3年次生4人、4年次生5人だった。

祝賀式で松木健一理事長が「コロナ禍の中で苦労もあつただろうが、実りある成果となった。本日で学んだことを忘れず、社会の屋台骨を支える人材として、鳳のごとく羽ばたいてほしい」と激励。佐々木重人学長は「皆さんは本学の名声を高めた」とたたえ、「今後は後輩の導きもお願いしたい」と述べた。

合格者を代表して国家公務員採用総合職試験合格の川村俊之輔さん(商4)があいさつ。「友人と切磋琢磨して高め合ってきた。コロナ禍で試験日程の変更などあったが、講座の講師や教職員の皆様による専大の心強

公認会計士試験合格者に聞く

仲間と家族に感謝

富士 優蔵さん(商3)

模試で思うように点数が伸びない時期もありましたが、講師からの厳しい言葉を奮発材料にして勉強に取り組みました。

大きかったのは仲間の存在。同年の会計士講座受講生と勉強の進め方や講師に質問した内容などを共有しました。互いに刺激となり、全員の成績が向上。確かな手応えをつかみ、自信を持って試験に臨むことができました。コロナ禍で通学できない時期は実家に戻っていたのですが、勉強に集中できる環境を整えてくれた家族にも感謝しています。

公的機関の監査業務に関心があるので、その分野に特化した会計士を目指したいと思っています。

頼られる会計士に

中川 玲菜さん(商4)

高校3年生のときに公認会計士の資格を知り、挑戦を決めました。合格者を多数輩出し、会計に強い点に魅力を感じて専大に入学しました。

初学者だった私は簿記3級の学習からスタート。電卓をたたくのが楽しく、試験勉強は苦ではありませんでした。1日9~10時間の学習が実り、短答式試験は一発合格。しかし論文式試験は不合格で、落ち込みました。そこから思い切って方針を転換。睡眠時間をしっかり確保するよう意識することでストレスが減り、学習の集中力も高まりました。

「この分野なら中川」と言ってもらえる会計士を目指し、専門性を身につけ、磨いていきたいです。

懸賞論文・文芸作品コンクール

水野さんに柘植光彦文学賞



阿藤正道学生部長から賞状を受け取る水野さん(右)

日本文学文化学科・高橋龍夫ゼミに所属する水野さんは、「近現代文学の研究を通じて、人の心や社会を深掘りする力が培われた。今後も自分の経験や問題意識に根ざした物語を書き続けたい」と話した。

文芸部門審査委員長の小林恭二文学部教授は、水野さんの練達した文章力に触れ、「柘植光彦文学賞にふさわしい水準の作品」と評した。

論文部門審査委員長の樋口博美人間科学部教授は今年度の応募について、「現代社会が抱えるさまざまな問題を真摯に考察した論文が多く、なかでも入選した3本はテーマ設定や論理の筋道がしっかりしていた」と講評を述べた。

入選作の作品集は3月に刊行を予定している。

21年度国家公務員採用総合職試験・公認会計士試験合格者

司法試験合格者は本紙608号に掲載。カッコ内は在学・卒業年、学部、所属ゼミ、出身校

◆国家公務員採用総合職試験【大卒程度試験】

▽山脇魁竜さん(法4、佐野裕志ゼミ、東京都専)

▽吉嶺遼哉さん(商4、伊藤和憲ゼミ、東京都駒)

▽富士優蔵さん(商3、奥)

◆公認会計士試験

▽山脇魁竜さん(法4、佐野裕志ゼミ、東京都専)

▽吉嶺遼哉さん(商4、伊藤和憲ゼミ、東京都駒)

▽富士優蔵さん(商3、奥)

▽西康宏ゼミ、富山県魚津

▽久保真大さん(商高)▽久保真大さん(商高)▽石原裕也ゼミ、新潟県八海高)▽井出千尋さん(商3、建部宏明ゼミ、長野県長野商業高)▽古川信之介さん(商3、柳裕治)

▽中川玲菜さん(商4、谷守正行ゼミ、埼玉東さいたま市立大宮西高)▽金澤諒太郎さん(商4、佐藤文雄ゼミ、岩手県花巻北高)▽永田和さん(令3高)▽小川尚暉さん(令3商、奥西康宏ゼミ、神奈川県平塚中等教育学校)▽有吉優希さん(令3商、松本徹ゼミ、広島県広島三育学院高)▽的場有沙さん(令2経済、石川県七尾高)▽山田敏明さん(平高)▽建部宏明ゼミ、千葉(泉成田北高)

計修会も祝賀会

計修会(専修大学公認会計士試験研究会)主催の公認会計士試験合格祝賀会が12月18日、神田キャンパスで約20人が参加して開かれた。写真。



本年度は計修会から、小川尚暉さん(令3商)、井出千尋さん(商3)、久保真大さん(商3)、古川信之介さん(商3)の計4人が合格した。

当日は、計修会前室長の佐々木重人学長やご指導いただいたエクステンションセンター主催の「会計士講座」の先生方2人も駆けつけ、コロナ禍での健闘をたたえ、お祝いの言葉を贈った。

最後に小川さんが「多くの人の支えがあり合格できた。これに感謝し、社会人として頑張っていきたい」と抱負を述べた。(商学部准教授、計修会室長・松本徹)

外国語の又々々

外国語教育研究室

宮田 宗彦

国際コミュニケーション学部准教授 (外国語教育研究室長)

略語について

最近、単語の先頭のローマ字、数字、漢字やカタカナを組み合わせた「略語」が日本語に蔓延しています。この「略語」は分かる人には分かるのですが、分からない人にはまったく意味がわかりません。

略語は大きく頭字語と省略語に分けられます。頭字語には、構成する各単語の頭文字を並べ、略語を通常の単語と同じように発音するものがあります。英語の例として、National Aeronautics and Space AdministrationはNASA、「ナサ」とまるで一つの単語のように発音します。最近よく耳にするPCR検査のPCRはPolymerase Chain Reactionという表現から作られた頭字語ですが、発音は語のアルファベットを一字ずつ発音するので「ピーシーアール」になります。単語を短縮して表現する省略語にはInternetはnet、weblogはblog、facsimileはfax、mathematicsはmathなどが挙げられます。

日本語発の略語も英語と同じ経過を経て作られます。日本語の頭字語は、国際連合は国連、東京横浜は京浜などと変化します。外来語から和製英語に変化して、略語になった日本語には、パーソナルコンピューターがパソコン、エンジンストールはエンスト、チョコレートはチョコなどが挙げられます。

日本語を母国語にするものにとって、外国語発の略語は覚えるのに大変苦労します。略語は本来コミュニケーションをスムーズにするために、我々がごく自然に作ったものですが、略語が外国語として現れると意味がわからずに理解に大変苦労するものになってしまうようです。略語の蔓延は外国語の理解をますます難しくする要因の一つになっているのかもしれない。

(応用言語学〈第二言語習得・英語教育学〉)

短縮版。全文はCALL教室ホームページで。